特定非営利活動法人 日本森林管理協議会 (Forsta;フォルスタ)

Forsta

FSC国際本部から正式に承認された、日本の窓口と なる組織です。日本国内で、FSC森林認証制度そのも のの普及・推進を行うと同時に、日本を対象とした基準 の検討と作成をおこないます。FSCに関するお問い合 わせ、FSCの普及・推進へ向けて提案などございまし たら、こちらへご連絡ください。

ホームページ: http://www.forsta.or.jp

WWF山笑会(さんしょうかい)



WWF山笑会は、国内外の森林を適切に管理し、そこ から生産される森林資源の利用を促進する企業・団体の グループです。

適切な森林管理、そして適正な製品の生産・流通・購入 を確認する最も有効な手段として、信頼できる森林認証 制度(現状ではFSCのみ)を最大限に活用しています。

ホームページ: http://www.wwfsanshoukai.jp







監 修 特定非営利活動法人日本森林管理協議会

発行 WWF山笑会

印刷 株式会社 栄光舎

三菱製紙株式会社 ニューVマットFSC-MXを使用





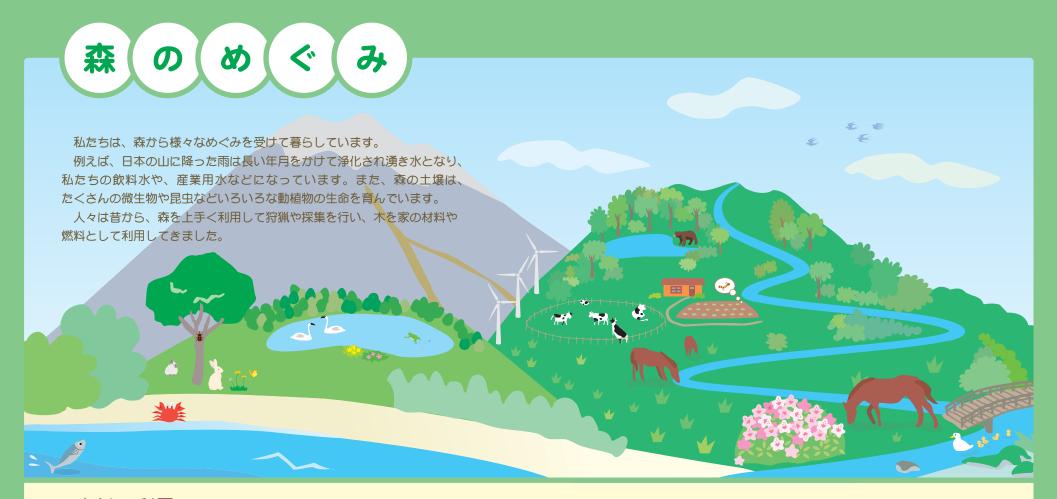










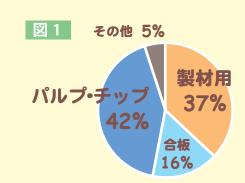


■木材の利用

森のめぐみの一つとして木材があります。私たちは家や家具、文具や紙など、 たくさんの木材・紙製品に囲まれています。

図1は、国内の木材需要の内訳を示したものです。木材は主に、家屋に使う製材と、紙に使うパルプ・チップとして利用されています。図2は、日本の木材自給率を示しています。日本は国土の約7割を森で覆われていますが、需要の8割を輸入でまかなっています。自給率は2割ほどしかありません。

私たちの目がなかなか届かない海外。そこからたくさんの木材が伐り出されています。それらの木材に目を向けてみる必要がありそうです。





平成18年度林野庁「木材需給表」より作成

森林破壊



©WWF-Canon / Alain COMPOST

■過剰な森林の利用

世界に目を向けてみると、多くの森が私たち人間の利用によって、本来の 姿を失っています。

建材や紙の原料にする木材を入手したり、農地をつくるために森を切り拓くケースなどがあります。その中には違法な伐採も含まれていると考えられます。樹齢100年を超える貴重な木が伐採されることも多々あるのです。

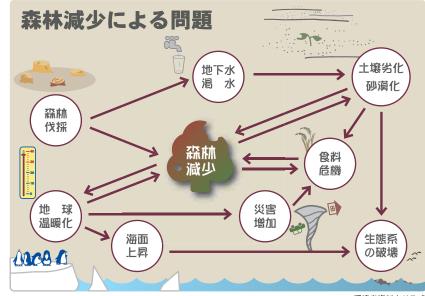
長い時間をかけて成長してきた貴重な森が一瞬にして無くなってしまうことにより、様々な影響が懸念されています。

地球上の陸地の約3割を森林が覆っています。2000~2005年の間では、 一年間で約1,300万haの森林が失われています。森林破壊は、「森のめぐみ」 を失うことです。それは私たちの子孫へ負の遺産を残すことを意味します。





FAO「STATE OF THE WORLD'S FORESTS 2007」より作成



環境省資料より作成



FSC森林認証制度

なかなか解決されない世界の森林問題へ対応しようと、FSC森林認証制度が考えられました。この証制度は、「森が適切に管理されているか」を、第三者機関が国際的に統一された基準に沿って審査、認証するものです。違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐための効果的な仕組みです。

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) とは・・・

FSCは会員制の非営利組織で、1993年に誕生しました。2008年2月現在、世界78ヶ国、736の会員で構成されています。その意思決定は会員によってなされます。会員は「経済・社会・環境」、そして「先進国と途上国」の立場の異なるグループに分かれ、それぞれの意見が平等に扱われています。この「利害関係のバランス」と「透明性のあるプロセス」という基本姿勢は、制度の至るところに反映されています。



FSCロゴマーク

FSC森林認証制度は、世界中全ての森を対象としています。認証された森に由来する木材・木/紙製品には、独自のロゴマークがつけられます。このロゴマークのついた製品が、世の中に広く流通し、積極的に選ばれるようになると、適切な管理をしている森が増えることにつながります。

これは、森を育てる人から、木/紙製品を製造・ 販売する会社、そして製品を使う人までが一緒になって、世界の森林を健全にすることで、地球環境を 守ろうという仕組みです。



FSCでは、森が適切に管理されるために、10の原則を守ることが必要だと定めています。





法律や国際的な取り決めや、 FSCの原則を守っている





森を所有する権利や利用する 権利が明確になっている



昔から森に暮らす人々(先住民)の 伝統的な権利を尊重している



森の周辺で生活する人や 森で働く人に十分な配慮をしている



豊かな収穫があり、様々な利用がなされ 地域からも愛され利用される森である



多くの生物がすむ豊かな森である



調査した情報を基に計画を作り、きちんと実行している



適切に森を管理しているかどうかを 定期的にチェックしている



保護するべき貴重な森を守り育てている



植林により人工的な森を作るときは 十分な配慮をする

05



FSC認証製品

FSCロゴマークがついた製品ができるまでには、FM(森林管理)認証、そしてCoC(加工・流通)認証を取得した事業者のルートを通らなければなりません。このルールにより、「FSCの森から消費者まで」をつなぐことができるのです。

FSC森林認証制度の仕組みは、認証番号の管理によって、ロゴマークを付けた製品が、どこの森で伐り出されて、その後どこで加工され、流通してきたのかの履歴(トレーサビリティ)を確認することができます。













製品は、付いているロゴマー クの認証番号で管理されてい ます。







FSCマークの取得方法

FSC口ゴマーク(木のマーク+「FSC」の文字)を使用する際は、次の 点に注意が必要です。

FM認証・COC認証を取得する

[対象者:P7で表された①森林管理者および②加工・流通者]

森林管理から加工・流通過程において、製品の所有権をもつ場合には 認証機関の審査を受け認証を取得する必要があります。

■ 認証審査の流れ

見積もり依頼







証書発行





審査の内容・期間は、認証機関により異なります。 詳しくは、下記の認証機関にお問い合わせ下さい。

認証機関 認証取得者がロゴマーク・文言を使用するにあたり、適切な指導・監督をします。

アミタ株式会社 ソリューション事業部 認証課

〒102-0075 東京都千代田区三番町28番地

8 03-5215-8326 (ダイヤルイン) E-mai: ninsho@amita-net.co.jp

SGSジャパン株式会社 森林認証プロジェクトチーム

〒220-8138 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー38階

8 045-330-5047 E-mail: Yuka.Hamamura@sgs.com

株式会社 FEM

〒105-0003 東京都港区西新橋3-19-14 東京建硝ビル7階

8 03-6430-7977 E-mai: cuinfo@f-em.jp

スマートウッド日本リプリゼンタティブ

〒136-0074 東京都汀東区東砂7-18-10-301

E-mail: shizukayasui@gmail.com **8** 03-6416-0500

認証機関は世界に18箇所あり、日本では4社で認証業務を行っています。(2008年6月現在)

IDを取得する

[対象者:P8で表された③小売および④消費者]

Ⅰ D 監督機関の指導・許可を受けてオリジナル I D を持つことで、 FSCが推進する森林保全のメッセンジャーになれます。

例えばこんな場合は I Dが必要です・・・



◆ I D使用までの流れ

(HPよりダウンロード)

- 使用許可の承認 使用例の確認 FSC口ゴマーク使用
- ◆ I D 発行機関

Forsta 特定非営利活動法人 日本森林管理協議会

FSC公式ロゴマーク担当 E-mail:fsc-info@forsta.co.jp | Dに関しての詳細は Forsta H P をご覧下さい URL: http://www.forsta.or.jp

FSCのマークは信頼のシルシ。 マークを正しく使うことが、適切な森林管理 責任を持って取り組んでいるアカシです。



FSCの広がり

世界の認証状況

2008年4月、FM認証林は、 1億haを超えました。これは、 日本の国土面積の約2.7倍に あたります。FM・COC認証 合わせて世界84ヵ国に普及し ています。

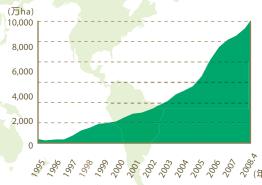
FM認証を取得した森林

世界:79ヵ国 件数:933件

面積: 103,456,399ha

2008年4月現在

◆ 世界のFSC認証林の面積



FSCウェブサイト (http://www.fsc.org) より作成

日本の認証状況

国内のCOC認証取得件数は、世界第3位 になっています。 F M認証取得件数:24件

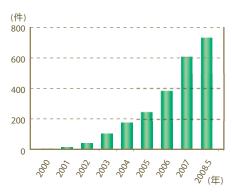
面積: 279,076ha COC認証取得件数: 727件

2008年5月現在

◆ 日本の F M認証林の件数



◆日本のCOC認証取得の件数



Foresta (http://www.forsta.or.jp) より作成

FM認証取得者の声



吉田本家山林部 代表 吉田 正木

人類が生きてゆくには資源が必要です。温暖化をはじめとする地球環境問題や、資源の問題について考えると再生産可能な木材資源を上手に使ってゆくことが鍵となるでしょう。しかし木材を生産するために世界中の森林が荒廃したことも事実です。FSC森林認証制度はこの問題に対処できる方法の一つであり、私は森林管理を行う上でこの制度に賛同しています。

COC認証取得者の声



株式会社 山櫻 (紙製品メーカー) 曽根 雅明

弊社は、紙製品の製造・販売に当り環境への配慮として古紙を積極的に使用してまいりましたが、近年は環境配慮と同時に印刷適性の良い製品を望む声が高くなってきております。これを踏まえ、森林保護のために管理されたバージンパルプのFSC認証紙に注目し、2006年夏からその製品化を進めてまいりました。今後もFSC認証紙と古紙のバランスを考慮し「高い環境性と品質」を同時に満たす製品作りを行っていく方針です。

消費者の声



郡山市 環境衛生部 環境保全課

平成16年、郡山市は全国の地方自治体として初めてFSC森林認証紙の利用を調達方針に明記しました。当時、FSCの「森を守りながら木材を利用する取り組み」という理念を、紙という最も身近な林産物で市民の方々にも知ってもらおうと、再生紙と共に環境配慮の紙として推進していくことにいたしました。この選択が、事業者の方々への環境配慮の取り組みへの一つのきっかけになればと思います。

消費者の声



奥山 清美

違法伐採や乱伐を防いで森を守るために、私は何ができるのだろうかと考え続けていましたところ、FSC森林認証制度に出会いました。FSCのラベリングされた製品を選択・購入することが、日本にいながら森を守るために出来るの行動だと知りました。それ以来、コピー用紙やノートはFSCを使っています。友人にFSCの写真立てやコースターを送ったり「マイ箸」を持ち歩いたりしてアピールしています。

11



FSCの商品

生活のあらゆるシーンで安心のFSC認証製品を選択できるように、様々な製品が登場しています。



FSC認証製品の生活雑貨の数々



ペッパーミル



人レー・フサー⁻)





キャンパスノート



コピー用紙



封筒&名刺



雑誌



ペーパースタンド



ひのき柱材



カッティングボード



テーブルセット